

海外安全対策情報（平成28年度第4四半期）

1 社会・治安情勢

（1）テロ関連動向（インドネシア国内情勢）

1月中、ISILとの関連を疑われ国外において摘発されたインドネシア人が多数本国に送還される事案が発生しました。また、2月27日には西ジャワ州バンドン市の公園において、ISIL関連の過激派組織の構成員でテロ容疑で服役経験のある男が、手製爆弾を爆発させたうえ近くの村役場に逃げ込み、駆けつけた警察部隊と銃撃戦になり射殺された事案が発生しています。

さらに3月中にも、国内各地において、テロ容疑で多数の容疑者が逮捕されています。

テロはいつでもどこでも発生する可能性があります。引き続き、最新の治安情勢等の関連情報を入手し、日頃から危機管理意識を高く持つよう努め、特にテロの標的となりやすい場所（ナイトクラブなど多くの欧米人が集まる場所、ショッピングモール等不特定多数が集まる場所、政府・警察関係施設、宗教関連施設等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

（2）デング熱への注意

デング熱の流行が継続しており注意が必要です。当地保健当局によれば、1月は約700名（死亡者2名）、2月は約500名（死者3名）の罹患者数で推移しているとのことです。

引き続き防蚊対策を徹底するなどしてデング熱の予防に努めて下さい。また、仮にデング熱が疑われる症状が発生した場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けるようにしてください。

（3）麻薬・薬物への注意

インドネシア当局は、引き続き薬物犯罪の摘発を強化しており、バリにおいても逮捕事案が続いています。薬物には絶対に関与しないようにして下さい。また、薬物が使用されているような危険な場所には近寄らないようにしてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

観光客が多く集まるクタ・レギャン地区を中心に、外国人旅行者を狙った「ひったくり」「集団スリ」といった盗難被害が発生しています。

また、上記エリア以外でもバイク使用の犯人によるひったくりが発生しています。

(2) 邦人被害事案

邦人に対する一般犯罪の事例については、月ごとに安全対策情報として総領事館ホームページに掲載しています。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当館管内においてテロ・爆弾事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上